

磐城時報

編輯 田中弘成
印刷 所加納活版所
發行 所磐城時報社
一、部金貳圓、一ヶ月金拾圓
廣告料一行十二字拾五字拾
日刊(日曜祝祭日)翌日休刊

十日の陸軍紀念日 平軍人會の催し

忠魂碑に参拜後 歸還軍人座談會

來る三月十日陸軍紀念日に加入員約百五十名にして
平市聯合軍人分會では午後東軍(大浦)指揮官は酒井福
一時五分會が縣社子鐵倉神太郎氏、西軍(大野)指揮官
社に集結歸還軍人の奉告祭木村義雄氏であるが、演習
出征兵の武進長久祈願を行終了後は大野第一校に於て
ひ忠魂碑を参拜、二時半マ分列式を執行し早川准尉の
ルトモホールで紀念式典を軍事講演ある。
舉行し各分會毎に總會を開
き歸還軍人を中心に座談會
を開く筈である。

小名濱で 未入營演習

小名濱町では戦時下に迎へ
る十日の陸軍紀念日に際し
大野兩村在郷軍人分會並に
青年團の聯合演習は來る十
未入營者の演習を行ひ午前
日の陸軍紀念日を以て大
野村役場附近を中心として
征兵の武進長久の祈願を行
午前九時より開始するが參ふ。

自家用製氷計劃に 會社で妥協の陳情

木村理事長出縣

縣下漁業組合聯合會では十
頃内外の自家用製氷製造の
計劃をたてゝゐたか之を知
つた縣下製氷組合では理事
長木村清治氏以下出縣商工
水産課に出頭値段の折合ひ
はつづけるから二重施設を中
止して貰ひ度いと陳情した
五十錢を醸出銃後の赤誠を

大洞師 四倉で講演

四倉町字原田海嶽寺では來
る十五日午後一時より曹洞
宗特派布教師曹洞宗大洞
眞雲師を迎いて國民精神總
動員並に時局等の大講演會

貨物船と衝突 漁船海上で遭難

江名町北町石川菊松氏所有
漁船三吉丸(二十四噸)は六
日午後六時頃歸港の途中小
名濱沖約十哩の海上で所屬
不明の五十噸位の材木船と
船尾を衝突して破損し航行
不能に陥つたので江名港よ
り救助船四隻が現場に向つ
た、幸ひ乗組員一同無事で
あつた。

漁業施設に 國庫補助金

縣では左記漁業組合の十三
年度漁業共同施設に對し國
庫助成金を三日農林省に申
を協議する。

産馬組合 石城産馬

畜産組合では來る十一日評
議員會、十二日平團體事務
所で總會を開き明年年度豫算
を協議する。

中堅農民 修得證授與

石城郡農會の中堅農民講習
會は六日終了したが、二十
一日午前十時から平團體事
務所で修得證授與式を舉行
する。

嫁人先で悲觀 母の墓前で死を計る

五日朝内郷村大字白水西光で嫁入先の家庭不和から悲
院境内に佇み泣いてゐる女觀し生母の墓前で自殺する
を發見調べた處東京市淺草區時頃家出し内郷村に來り自
村白水生れ伊藤けい(二五)ある。

小竈に觸つて 列車妨害を計る

有罪として豫審へ
内村道の常磐線踏切りに差
しかつた際線路上に轉倒
憤慨して自轉車を線路上に
置いて列車妨害を計つた事
件は平支部調口豫審判事か
取調べ中有罪と決定支部の
公判に附された。

米穀組合で 茨城視察

四倉署管内二町四ヶ村の米
穀商組合の定期總會は來る
十日開催する豫定であるが
本年度は宴會を廢して茨城
縣水戸市を中心として麥其
十圓、但し二年間執行猶豫

酔つて慘死

植田町役場書記赤津龍公(二
三)は四日夜友人五人と
酒をのみ夜九時頃歸宅の途
中堀に轉落死亡した。

死因判る

既報、好間村愛谷地内を進
行中の磐城線列車に飛込み
自殺を遂げた相馬郡上真野
村引地うめ(二〇)の死因
は平署で調べた結果左の如
き事情が判明した。
うめは昨年七月、看護婦
を志して上京し講習をう
けた後、同十一月から本
郷區駒込千田木町の某醫
院で見習看護婦學校に通
學し五月試験を受けるた
め勉強中であつたが貧家
目下出征中の従弟荒川等
君と結婚させる豫定であ
つたが、うめは最近過度
の勉強から神經衰弱に罹
り去る二日歸郷の途中平
野に下車し線路傍にさ
まよつて飛び込んだのも
である。

磐城中学校を 築立つ百八十四名

- (優)は優等生
赤津善衛 秋山仁市 阿
久津 阿部新平 安孫子
部豊司 青戸兵衛 石黒
武雄 石坂幹雄 石井吉
男 伊藤修三 磯上加衛
泉巳代次 伊藤清 伊藤
飯尾貞夫 岩崎憲太郎
飯尾貞夫 白井一郎 瓜
田久雄 植松茂 江連了
兒小曾納昭 太田武
行 大塚静義 大友美賢
大平泰介 大平九十一
- 大平芳松 大開順三 大
森昌一 河野和平 影山
忠英 片寄一男 片寄藤
勝倉文雄 勝沼俊也 上
遠野馨 川上正義 川角
清 加美山啓介 北郷繁
木田茂義 木田志雄 太
木田敏夫 草野仁良 久
助 鈴木重虎 鈴木誠一
鈴木健夫 鈴木忠三 鈴
木弘之 鈴木康男 末永
勝 關幸雄 岡部健次郎
園部隆一 高木孝一 高
木秀夫 高倉三郎 高萩
- 政亨 高橋善雄 高田四
郎 立花長造 田中宗太
郎 千葉明 富岡定真 永
島友夫 中川信一 永
島彦 生田目耕平 新妻
時夫 (優)根本忠雄 根
本 根本勇弘 根本義
男 野木健男 根本堅
橋本源藏 (優)橋本光雄
八田宗市 濱崎廣太郎
濱島曉 比佐秀雄 菱沼
三郎 蛭田丈夫 舟生保
久 振鏡武男 戸來盛
達 米信明 星野喜四郎
堀越信造 松浦孝 松崎
至男 松田真太郎 (優)
馬目一郎 馬目大 前田
春雄 三田實雄 水野谷
- 一郎 綠川浩行 宮澤光
伸 室越廣美 森笠仲族
八代英 矢代弘文 (優)
山崎道雄 山田二郎 山
野邊武 遊佐善夫 横内
直寛 吉江忠徳 吉田一
典 吉田三郎 吉田尚
吉田武 吉田豊司 吉田
吉田益三 吉田等 吉田浩
和夫 渡邊正保 渡邊正
和 渡邊裕 渡邊與志雄
和田浩美 猪狩三真 猪
狩二郎 遠藤幸春 遠藤
芳行 遠藤吉雄 岡部泰
小野富房 小野忠弘
小野富房 小野忠弘
以上

産婆看護婦

生徒募集

願書締切 四月六日
修養年限 兩科を通じ一ケ年
平市元一丁目
新築校舎 平市橋樫小路

石城産科婦 看護婦 學校

校長 鷹崎 千代

三十三回 生徒募集

非常時日本の女性に!!!
婦人の職業として、家庭の衛生學として
産婆看護婦 をお奨め致します。それには
成績の最もよいと定評ある.....

平南町 産婆看護婦學校へ!

☆申込みは成るべく早く
☆新學期の開始は四月八日より

平産婆看護婦學校

校長 清野 キヨ
電話【三七〇番】

蓄膿症 快鼻湯

本劑は幾多の藥劑あり、雖他藥の及ばざる
良藥で、左の病症の方は一時も早く服用
され快癒されん事を御奨め致します
蓄膿症、慢性急性鼻加答兒、鼻汁多加症
頭痛、肥厚性鼻炎に靈効あり。
その他鼻骨彎曲症並に中耳炎は偉大なる神効ありと賞
讃されて居ります

快鼻湯製造元 **水野藥局**
責任製劑者 藥劑師 水野 清
電話六九九番

！に禮御のへ様意得御

パーマメントウエーブ

今や...世界的流行であります
お値段一三四圓...全部
通
時間の經濟と能率増進
時代の要求するパーマメント
◆今が絶好のチャンス
現狀維持では...
時代に取残されませう。
鏡後を守る御婦人方への
大サーブに
御婚禮御着付
和洋結髪
オゾン美顔術
最新美容法を研究し
その奥義を
美爪術
その奥義を
白赤毛染
修得致して参りました。

水野化粧院

平市駅前 電話六七八
住宅 電話五二五

カメラニュース

サムイ イヤナ フユ ガ イツテ
ワレラ ガ ハルワ ホホエミ ツツ
ヤツテ マイリマンタ。ナガイ アイダ
ツカワレ ナカツタ カメラ デス。
レンズ クリナー ナド デヨク レン
ズ ノ テイレ ランテ クダサイ
サア セントウ カイン デス。
ウメ ガ ホコロビ マシタ。
ノ ヤマ モ ホホエンデ オリマス。

タイラ シ 2 チョウメ
デンワ 3 パン
ニシムラヤクテン

産婦人科 花柳病科

井坂醫院

平市田町(電話五五九番)

大捷 春 獨特の珈琲と WEIN
紳士の喫茶店
サービス制(外拜辭)
グリル **バツカス**
平市銀座通り TEL 702
女店員募集
面白く真面目に安心して働ける給料制度です
委細本人お出下さ

強力電気應用
神経痛に特効
新鮮な冷凍良焼あります

魚召すから ヒシマル凍魚

白エビ マナ鱈 ノカサギ
魚ビ甘鯛 立貝
カナ頭 貝焼
早水産手特約(電話三三三六番)
平製氷會社
平市駅前(電話五二五番)

石城中小商工互融會

太平火災海上保險株式會社中央代理店
事務所 福島縣平市橋樫小路一番地 電話五五五番

融通口數	八五〇
融通金額	三、三一九、〇〇〇
滿期拂戻口數	八一〇
滿期拂戻金額	四、三二〇、〇〇〇

概況 昭和三十一年一月末現在
會員數 八、九八六口
世帯數 五、八一五戸
積立金一三、三三八、八七
融通金額 一、五三三、六七
融通金回収高 七、九六三、〇〇
滿期拂戻口數 七六五口
滿期拂戻金額 三、五三三、〇〇

小名濱方部 湯本方部
小名濱町古港 湯本町天王崎
菊田方部 相双支部
植田町臺町 原町東一番町

魚清自慢の なべ料理

鳥なべ。ちりなべ
よせなべ。ねぎまなべ
かきなべ。はもなべ
あんこなべ
出前も迅速に致します

魚清食堂

電話六三三番

吉田眼科醫院

市平紺屋町(電話六八番)